

令和8年度

奈良教育大学大学院教育学研究科

修士課程

[一般選抜]

[外国人留学生特別選抜]

学生募集要項

[9月募集]

[2月募集]

募集区分	出願期間	試験期日	合格発表
9月募集	令和7年7月25日(金)～ 令和7年7月31日(木)	令和7年9月6日(土)	令和7年9月25日(木)
2月募集	令和7年12月5日(金)～ 令和7年12月11日(木)	令和8年2月14日(土)	令和8年2月27日(金)

奈良教育大学

目 次

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー).....	1
教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー).....	1
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー).....	2
I. 修士課程(一般選抜)	
1. 専攻、入学定員及び募集人員.....	3
2. 標準修業年限.....	3
3. 出願資格.....	3
4. 出願手続.....	6
5. 受験票の送付.....	8
6. 選抜方法.....	8
7. 受験についての留意事項.....	10
8. 合格者の発表.....	10
9. 入学手続.....	11
10. 納付金.....	11
11. 修士課程担当教員一覧表.....	11
II. 修士課程(外国人留学生特別選抜)	
1. 専攻、入学定員及び募集人員.....	12
2. 標準修業年限.....	12
3. 出願資格.....	12
4. 出願手続.....	14
5. 受験票の送付.....	16
6. 選抜方法.....	16
7. 受験についての留意事項.....	18
8. 合格者の発表.....	19
9. 入学手続.....	19
10. 納付金.....	19
11. 修士課程担当教員一覧表.....	20
III. 修士課程(一般選抜)・修士課程(外国人留学生特別選抜)共通事項	
1. 受験上の配慮等に関する事前相談について.....	21
2. 修了要件、履修方法等について.....	21
3. 学部授業科目の履修制度について.....	21
4. 長期履修学生制度について.....	22
5. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について.....	22
6. 個人情報の利用について.....	22

※ 郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の郵便切手が必要になりますので注意してください。

教育学研究科の特徴

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学研究を深めることによって、豊かな人間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

学士課程において、また社会人として身に付けた資質・能力に加え、次のような人を求めます。

1. 日本や諸外国の文化・歴史・教育に関心があり、伝統文化や国際理解教育に関する研究を行い、その成果を生かして広く教育に貢献したいという目的を持つ人
2. 伝統文化の持続発展や国際理解教育に関わる基礎的な知識・技能を有する人
3. 研究成果を国内外で発信する意欲と、背景の異なる相手を意識したコミュニケーション能力を有する人

入学者選抜の基本方針

教育学研究科は、本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、筆記試験、口述試験、研究計画等の評価を総合して入学者を選抜します。

【教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

（1）教育課程の編成の方針

1. 「共通コア科目」（必修）を1年次の初期に配置し、フィールドワークや講義を通して本専攻での学びの基盤となる知識及び意欲的に学び続ける力を育み、研究への動機づけと研究目的の明確化を図ります。
2. 「実践コア科目」（選択必修）を配置し、演習や実技を通して、伝統文化の発信（『伝統文化の継承と発信』）、芸術と生活との関わり（『書道の芸術性と実用性』）、異文化間コミュニケーションによる多文化共生社会創造（『多文化共生社会創造のための教育』）に関する知識・技能、思考力・判断力・表現力を育みます。
3. 「専門深化科目」（選択必修）として、院生の課題解決に対応する専門的科目を配置します。ここでは伝統文化教育（書道を含む）に関する科目と国際理解教育に関する科目を開設し、伝統文化と国際理解を架橋させ知識・技能、思考力・判断力・表現力を育みます。また、理論と実践の往還を果たすため、各関係機関や教育機関でのフィールドワークやフィールドリサーチを含めて実施します。
4. 『課題研究』（必修）を配置し、ゼミとして「共通コア科目」「実践コア科目」「専門深化科目」での学びを統合し、研究力を育みます。
5. 修士論文作成・作品制作のための研究指導を行い、課題の探求と解決、及びその成果を発表できる資質・能力を育みます。

（2）教育課程における教育・学修方法に関する方針

本学教員は、持続可能な社会そして多文化共生社会の実現に貢献できる人材育成についての観点や内容を共有し、協働する体制で教育を進めます。また、留学生と日本人学生の共修の場として、学生それぞれのこれまでの経験・知識を活かし、互いに学び合う学修環境、支援体制の整備に努めます。

（3）学修成果の評価の方針

全授業科目において、本専攻の理念・目的及びカリキュラム・フレームワークに即した到達目標を定

め、到達目標並びに評価の方法をシラバスによって学生と教員で共有し、成績評価を的確かつ厳正に行います。学位論文に関する審査項目を定め、複数名の審査委員を選出し、厳正に審査します。また、その成績評価結果や学生による授業評価結果を点検し、カリキュラムの評価・改善を図ることで教育の質の保証に努めます。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

伝統文化の持続発展やその教育、国際理解教育に関わる研究を通し、修了までに以下の資質・能力を身に付けることを求めます。それらを獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位（修士（教育学））を授与します。

1. 伝統文化の持続発展や国際理解教育の発展に貢献する高度な知識・技能、思考力・判断力・表現力
2. 伝統文化やその教育、国際理解教育に関わる課題を探求・解決し、それらについて専門性を深めることができる研究力
3. 教育の立場から多文化共生社会の実現やSDGsの達成に貢献できる力量

I. 修士課程（一般選抜）

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	専修	入学定員	募集人員		選抜区分
			9月募集	2月募集	
伝統文化教育・ 国際理解教育	伝統文化（書道 を含む）教育・ 国際理解教育	20名	20名	一般選抜 （筆記重視型）	
				一般選抜 （実技重視型）	
合計		20名	20名		

- ・ 9月募集及び2月募集で上記の人員を募集します。
- ・ 筆記重視型とは、口述試験において、出願書類として提出する「先行研究を踏まえた研究計画書（1,000字程度。日本語）」等に関わる口頭試問を課す選抜区分になります。
- ・ 実技重視型とは、口述試験において、試験当日に絵画記録保存技術又は書道実技を課すとともに、当日の持参作品及び願書に記載する「研究計画概要（400字程度。日本語）」等に関わる口頭試問を課す選抜区分になります。
- ・ 募集人員には外国人留学生特別選抜の募集人員の若干名を含みます。（12頁を参照）

2. 標準修業年限

2年とする。ただし、長期履修学生制度が適用された場合の修業年限は、4年以内の許可された年数となります。詳細については、22頁を参照してください。

3. 出願資格

次の(1)から(9)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和8年3月までに大学卒業見込の者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)及び令和8年3月までに指定した者に該当する見込みの者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年4月1日現在22歳に達している者

[注]

- ・上記(8)の文部科学大臣の指定した者には、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学を卒業した者等が指定されていますので、(8)により出願する者は、当該出願資格に該当する証明書（該当する見込みの者は見込み証明書）の提出が必要です。
- ・上記(9)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければなりません。

＜出願資格(9)における個別の入学資格審査の申請方法等＞

出願資格(9)により出願を希望する者は、出願に先立ち、入学資格審査を行いますので、次の書類を各申請期間中に入試課に提出してください。

入学資格審査申請書等の様式は、郵送または入試課窓口にて配付します。郵送にて配付を希望する者は、表に「大学院入学資格審査申請書(修士課程 一般選抜)請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(110円分の郵便切手(普通郵便料金)を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

(1) 入学資格審査申請書類

- ① 入学資格審査申請書(本学所定の用紙)
- ② 研究・学修歴、実務経験申告書(本学所定の用紙)
- ③ 連絡票(入学資格審査用)(本学所定の用紙)
- ④ 入学を志望する動機(用紙はA4判とし、400字程度)
- ⑤ 最終学校の卒業証明書 ※1
- ⑥ 最終学校の成績証明書 ※1
- ⑦ 在職(籍)証明書(在職(籍)期間、職務内容、勤務様態等が確認できる書類) ※2
- ⑧ 返信用封筒(760円分の郵便切手(簡易書留速達郵便料金)を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)

※1 卒業証明書及び成績証明書は出身学校の発行する原本を提出してください。ただし、和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校又は総領事館(中華人民共和国の場合はCHSI)が証明した翻訳文(和文又は英文に限る。)を添付してください。(日本語学校による証明は認められません。)上記以外の機関の証明を受けようとする場合は事前に本学までお問い合わせください。証明の遅延を理由とした締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって書類の準備をしてください。

※2 現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職(籍)中の者は提出してください。

(2) 入学資格審査申請期間

[9月募集] 令和7年 6月27日(金) から令和7年 7月 2日(水) まで

[2月募集] 令和7年10月24日(金) から令和7年10月29日(水) まで

郵送による場合は、封筒表面に「入学資格審査書類在中」と朱書きし、「簡易書留便」により、申請期間必着で送付してください。

(3) 審査方法

提出された書類の内容を総合して判定します。ただし、研究科が必要とする場合は口述試験、筆記試験(実技等を含む。)を行うことがあります。なお、審査の日時及び集合場所は本人に別途通知します。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、以下の期日までに郵送により本人に通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学大学院入学資格認定書」を同封します。

[9月募集] 令和7年 7月23日(水)

[2月募集] 令和7年11月21日(金)

資格を認められた者は、出願時に「奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)」を提出してください。

(5) 留意事項

8頁「(3) 出願にあたっての注意事項」のとおり、出願にあたっては研究指導(補助)を希望する教員に必ず事前に相談する必要がありますが、入学資格審査での口述試験は事前相談には当たりませんのでご留意ください。

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。 事前相談を行った教員（研究指導（補助）を希望する教員）を記入してください。 受験を希望する専門分野（小区分）を1つ選択してください。
②	研 究 計 画 概 要	全 員	所定の用紙（願書裏面）に大学院において研究したい分野と概要について記入してください。（400字程度）
③	受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 385円分の郵便切手（速達郵便料金） を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
④	検 定 料 (30,000円)	全 員	郵便局・ゆうちょ銀行窓口で納付し、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、志願者の負担とします。 (注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので必ず窓口で納付してください。
⑤	卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。（※備考欄(1)を参照のこと）
⑥	成 績 証 明 書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。（※備考欄(1)を参照のこと）
⑦	宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑧	先行研究を踏まえた研究計画書	筆記重視型を選択した者	所定の用紙に先行研究を踏まえた研究計画について記入してください。（1,000字程度）
⑨	学 位 授 与 証 明 書	出願資格(2)の学士の学位を授与された者	大学改革支援・学位授与機構が作成したものを提出してください。（大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。）
⑩	学 士 の 学 位 授 与 申 請 受 理 証 明 書	出願資格(2)の大学改革支援・学位授与機構に学位申請中の者	大学改革支援・学位授与機構が作成したものを提出してください。（大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。）
⑪	出願資格(8)に該当又は該当見込み証明書	出願資格(8)に該当する者	出願資格(8)に該当又は該当見込み証明書（例：気象大学校の大学部を卒業した者は卒業証明書（卒業見込みの者は卒業見込証明書））を提出してください。（大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。）

⑫	奈良教育大学大学院 入 学 資 格 認 定 書 (写)	出願資格(9)に 該 当 す る 者	本学が行う入学資格審査により入学資格を認められた者は提出してください。(大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑬	受 験 承 諾 書	大 学 院 在 学 者	所定の用紙により、在学している大学院の学長又は研究科長の承諾書を提出してください。
		在 職 者	現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職中で、 <u>在職のまま入学しようとする者は</u> 、所定の用紙により、所属長等の承諾書を提出してください。
⑭	住 民 票 の 写 し 等	日本国に居住している 外国人 (永住許可者は対象外)	市区町村長が交付する、国籍、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。※マイナンバーの記載が省略された証明書類であること。

(注) 婚姻等により改姓し、証明書類等の氏名と異なっている場合は、それを証明する書類(戸籍抄本等)を添付してください。

(備考)

- (1) ① 卒業(修了)証明書又は見込証明書及び成績証明書は出身学校の発行する原本を提出してください。ただし、和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校又は総領事館(中華人民共和国の場合はCHSI)が証明した翻訳文(和文又は英文に限る。)を添付してください。(日本語学校による証明は認められません。)上記以外の機関の証明を受けようとする場合は事前に本学までお問い合わせください。
- ② 証明書類等は、原本を提出してください。原本以外の場合は、必ず自国大使館等の公証書類を提出してください。
- ③ 海外及び公的機関からの証明の遅延を理由とした出願締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって出願書類の準備をしてください。
- (2) 実技重視型を選択した志願者は、専門分野(小区分)に関する作品及び当該作品の写真(所定の台紙に貼付)を試験当日の筆記試験開始15分前までに、講義2号棟の受付に提出してください。(9頁参照)

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、下記の出願期間中に提出してください。郵送による場合は、本要項に添付した出願用封筒を用い『簡易書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

[9月募集]

令和7年7月25日(金)から令和7年7月31日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く。)

(郵送の場合は、7月31日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

[2月募集]

令和7年12月5日(金)から令和7年12月11日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く。)

(郵送の場合は、12月11日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 志願者と本学大学院とのミスマッチを防ぐなどの観点から、出願の前に、大学院入学後の研究内容について、指導を希望する教員と個別相談をお願いしております。11. 修士課程担当教員一覧や本学ホームページの教員一覧の情報を参考に、研究指導（補助）を希望する教員に必ず事前に相談してください。（願書に事前相談を行った教員名を記載願います。）なお、教員への事前相談については、教員に確認の上、来訪による対面形式、もしくはZOOM等のオンライン会議システムや電話による方法等により行ってください。（メールのみでの相談はここでいう教員への事前相談にあたりません。）

【参照】教員一覧URL (<https://www.nara-edu.ac.jp/academic/masters/teachers/>)

- ② 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ④ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
 - ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が以下の日時までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

[9月募集] 令和7年8月20日（水）

[2月募集] 令和8年1月26日（月）

- (2) 受験及び入学手続に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

6. 選抜方法

選抜試験はすべて日本語を使用して実施します。

入学者の選抜は、筆記試験（小論文）、口述試験（実技重視型のみ実技を含む）、成績証明書、研究計画概要、先行研究を踏まえた研究計画書（筆記重視型のみ）及び当日の持参作品（実技重視型のみ）の内容を総合して行います。

配点等は、筆記試験（小論文）として専修共通課題（100点満点）及び専門分野からの課題（100点満点）並びに口述試験（A・B・C評価）とします。

なお、口述試験における口頭試問は、原則、個人面接で実施します。ただし、実技重視型における実技に関しては集団で実施します。

[出題範囲等]

専修共通課題

多文化共生社会の実現、あるいは、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）と自分自身の研究テーマに関連した内容について、800字程度の小論文を作成してもらいます。

専門分野からの課題

以下の専門分野毎に伝統文化や国際理解教育に関連した内容を出題します。

志願者は、出願時に以下の専門分野（小区分）から1つ選択の上、出願してください。

専門分野		備 考
大区分	小区分 ※受験を希望する区分を一つ選択してください。	
伝統文化教育分野	1. 絵画記録保存技術 2. 仮名書道 3. 漢字書法	【実技重視型】
	4. 日本・東洋美術史 5. 文化財科学	【筆記重視型】
国際理解教育分野	6. 漢文学 7. 日本語学 8. 日本語教育学 9. 複言語教育 10. シティズンシップ教育	【筆記重視型】

口述試験（実技重視型）における実技

実技重視型を受験（選択）する際には、下記事項に留意してください。

1. 絵画記録保存技術、2. 仮名書道、3. 漢字書法のいずれかの区分を選択の上、出願します。

① 口述試験における実技のために次のものを持参してください。

1. 絵画記録保存技術

〈試験内容〉 上げ写し法による東洋絵画の模写（用紙は、A3版大程度）

〈持参物〉 模写用具一式（線描用の筆、墨、硯、練習用紙、絵皿など）

2. 仮名書道 および 3. 漢字書法

〈試験内容〉 半紙程度の臨書

〈持参物〉 太筆（半紙6字書き程度）、仮名用細筆、墨（墨液も可）、硯、文鎮、練習用半紙、
下敷き

② 専門分野（小区分）に関する作品及び作品の写真（所定の台紙に貼付）を持参の上、試験当日の筆記試験開始15分前までに、講義2号棟の受付に提出してください。

1. 絵画記録保存技術

日本画、あるいは水彩画（東洋画の模写作品を含む。） 1点

作品は3年以内に制作したものとし、サイズは自由とします。

[持参作品の写真]

持参作品の写真（L判・カラー、作品全体が鮮明に写っていること） 1枚

2. 仮名書道 および 3. 漢字書法

毛筆による自作の書道作品 2点

ただし、漢字または仮名、臨書・創作は問わず、表装してあることが望ましい。

作品は3年以内に制作したものとし、サイズは自由とします。

[持参作品の写真]

持参作品の写真（L判・カラー、作品全体が鮮明に写っていること） 各1枚

※ 持参作品については、当日返却します。（いったん預かるため、包装は簡易であること。）

※ 持参作品の写真は、本学所定用紙に貼付の上、提出してください。

(1) 試験期日

[9月募集] 令和7年9月6日(土)

[2月募集] 令和8年2月14日(土)

(2) 試験場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 試験時間割

当日は、試験についての留意事項を説明しますので、必ず各試験の10分前までに集合してください。集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

(伝統文化教育・国際理解教育専攻 伝統文化(書道を含む)教育・国際理解教育専修)

試験区分 選抜区分	筆記試験(小論文)		口述試験 (A・B・C評価)
	専修共通課題 (100点満点)	専門分野からの課題 (100点満点)	
一般選抜 (筆記重視型)	9:30~11:00(90分間)		12:00~ 口頭試験
一般選抜 (実技重視型)	9:30~11:00(90分間)		12:00~ 実技終了後、口頭試験

7. 受験についての留意事項

- 出願手続後は、選抜区分及び専門分野の変更は認めません。
- 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- 試験当日は、「奈良教育大学大学院教育学研究科(修士課程)受験票」を必ず持参してください。
万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。
- 試験室に入室するまでに、必ずスマートフォン等の電子機器類のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。なお、口述試験の待機中は自席での自習は可能ですが、スマートフォン等の電子機器類は使用できません。
- 筆記試験(小論文)開始後30分を経過して遅刻した者は、それ以降の試験も含めて受験することができません。また、口述試験については、開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。
なお、トイレ等の一時退室による試験時間の延長は行いません。
- 連絡事項がある場合は、本学のホームページに掲載します。
- 本要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

[9月募集] 令和7年9月25日(木) 午前10時

[2月募集] 令和8年2月27日(金) 午前10時

合格発表日に本学のホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送します。ホームページ上の合格速報は情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には合格通知書で確認してください。また、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日

[9月募集] 令和7年10月 9日(木) 郵送必着

[2月募集] 令和8年 3月13日(金) 郵送必着

10. 納付金

① 入学科 282,000円 (予定額)

② 入学時諸費用 18,080円 (予定額)

(内訳: 後援会費10,000円、同窓会費6,000円、学生教育研究災害傷害保険等2,080円)

(注) ア. 既納の入学科は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 授業料については、前期分は5月末まで、後期分は11月末までに納入いただきます。納入手続の詳細については、合格者に配付する「入学手続要領」によりお知らせします。

(参考) 授業料 年額535,800円(前期267,900円 後期267,900円) (予定額)

ウ. 上記の入学科、授業料及び入学時諸費用は、令和7年度入学者の金額であり、令和8年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 入学時諸費用(上記②)を納入した者が、令和8年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ. 詳細については、合格者に配付される「入学手続要領」を参照してください。

11. 修士課程担当教員一覧表

8頁の「専門分野からの課題」をよく読んで専門分野を受験(選択)してください。

氏名欄に※のある教員は令和8年3月退職予定です。※※のある教員は令和9年3月退職予定です。下表に変更が生じた場合は、本学のホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)で発表しますので、各出願前に確認してください。

研究領域	職名	氏名	研究テーマ・研究分野
伝統文化教育分野	准教授	池田 藍子	文化財造形、文化財における絵画記録保存・彩色復元模写
	准教授	北山 聡佳	仮名書道、仮名書道に関する教育
	准教授	西村 大輔	漢字書法、書写書道教育
	教授	山岸 公基※	日本・東洋美術史の研究
	教授	青木 智史	文化財科学、博物館学
国際理解教育分野	教授	橋本 昭典	中国思想、日本漢文学
	教授	前田 広幸※※	日本語の研究
	教授	和泉元 千春	日本語教育学
	教授	吉村 雅仁※※	複言語能力育成のための言語教育、言語意識教育
	教授	橋崎 頼子	シティズンシップ教育のカリキュラム研究

Ⅱ. 修士課程(外国人留学生特別選抜)

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	専修	入学定員	募集人員		選抜区分
			9月募集	2月募集	
伝統文化教育・ 国際理解教育	伝統文化（書道を含む）教育・ 国際理解教育	20名	若干名		外国人留学生特別選抜 （筆記重視型）
					外国人留学生特別選抜 （実技重視型）
合計		20名	若干名		

- ・ 9月募集及び2月募集で上記の人員を募集します。
- ・ 筆記重視型とは、口述試験において、出願書類として提出する「先行研究を踏まえた研究計画書（1,000字程度。日本語）」等に関わる口頭試問を課す選抜区分になります。
- ・ 実技重視型とは、口述試験において、試験当日に絵画記録保存技術又は書道実技を課すとともに、当日の持参作品及び願書に記載する「研究計画概要（400字程度。日本語）」等に関わる口頭試問を課す選抜区分になります。

2. 標準修業年限

2年とする。ただし、長期履修学生制度が適用された場合の修業年限は、4年以内の許可された年数となります。詳細については、22頁を参照してください。

3. 出願資格

次の(1)から(5)のいずれかに該当する外国籍を有する者(ただし、日本国に永住している者は対象としません。)

- (1)外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (2)外国において学校教育における12年の課程を修了し日本において大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
- (3)外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (4)本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和8年4月1日現在22歳に達している者
- (5)その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

[注]・上記(4)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければなりません。

＜出願資格(4)における個別の入学資格審査の申請方法等＞

出願資格(4)により出願を希望する者は、出願に先立ち、入学資格審査を行いますので、次の書類を各申請期間中に入試課に提出してください。

入学資格審査申請書等の様式は、郵送または入試課窓口にて配付します。郵送にて配付を希望する者は、表に「大学院入学資格審査申請書(修士課程 外国人留学生特別選抜)請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(110円分の郵便切手(普通郵便料金)を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

(1) 入学資格審査申請書類

- ① 入学資格審査申請書(本学所定の用紙)
- ② 研究・学修歴、実務経験申告書(本学所定の用紙)
- ③ 連絡票(入学資格審査用)(本学所定の用紙)
- ④ 入学を志望する動機(用紙はA4判とし、400字程度)
- ⑤ 最終学校の卒業証明書 ※1
- ⑥ 最終学校の成績証明書 ※1
- ⑦ 在職(籍)証明書(在職(籍)期間、職務内容、勤務様態等が確認できる書類) ※2
- ⑧ 返信用封筒(760円分の郵便切手(簡易書留速達郵便料金)を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)

※1 卒業証明書及び成績証明書は出身学校の発行する原本を提出してください。ただし、和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校又は総領事館(中華人民共和国の場合はCHSI)が証明した翻訳文(和文又は英文に限る。)を添付してください。(日本語学校による証明は認められません。)上記以外の機関の証明を受けようとする場合は事前に本学までお問い合わせください。証明の遅延を理由とした締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって書類の準備をしてください。

※2 現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職(籍)中の者は提出してください。

(2) 入学資格審査申請期間

[9月募集] 令和7年 6月27日(金) から令和7年 7月 2日(水) まで

[2月募集] 令和7年10月24日(金) から令和7年10月29日(水) まで

郵送による場合は、封筒表面に「入学資格審査書類在中」と朱書きし、「簡易書留便」により、申請期間必着で送付してください。

(3) 審査方法

提出された書類の内容を総合して判定します。ただし、研究科が必要とする場合は口述試験、筆記試験(実技等を含む。)を行うことがあります。なお、審査の日時及び集合場所は本人に別途通知します。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、以下の期日までに郵送により本人に通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学大学院入学資格認定書」を同封します。

[9月募集] 令和7年 7月23日(水)

[2月募集] 令和7年11月21日(金)

資格を認められた者は、出願時に「奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)」を提出してください。

(5) 留意事項

16頁「(3) 出願にあたっての注意事項」のとおり、出願にあたっては研究指導(補助)を希望する教員に必ず事前に相談する必要がありますが、入学資格審査での口述試験は事前相談には当たりませんのでご注意ください。

4. 出願手続

(1) 出願書類（日本語で記入すること。）

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	<p>所定の用紙に必要な事項を記入してください。(氏名は住民票に記載されている氏名を記入してください。)</p> <p>事前相談を行った教員（研究指導（補助）を希望する教員）を記入してください。</p> <p>受験を希望する専門分野(小区分)を1つ選択してください。</p>
②	研 究 計 画 概 要	全 員	<p>所定の用紙（願書裏面）に大学院において研究したい分野と概要について記入してください。（400字程度）</p>
③	受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	<p>所定の用紙に必要な事項を記入してください。受験票の裏面には、385円分の郵便切手（速達郵便料金）を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。</p>
④	検 定 料 (30,000円)	全 員	<p>郵便局・ゆうちょ銀行窓口で納付し、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、志願者の負担とします。ただし、国費外国人留学生の場合は納付を必要としません。</p> <p>(注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので必ず窓口で納付してください。</p>
⑤	卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書	全 員	<p>出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。（備考欄(1)を必ず参照のこと）</p>
⑥	成 績 証 明 書	全 員	<p>出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。（備考欄(1)を必ず参照のこと）</p>
⑦	宛 名 票	全 員	<p>合格通知書及び入学手続書類を受け取る場所の郵便番号・住所・氏名を記入してください。</p>
⑧	先行研究を踏まえた 研 究 計 画 書	筆記重視型を 選択した者	<p>所定の用紙に先行研究を踏まえた研究計画について記入してください。（1,000字程度）</p>
⑨	住 民 票 の 写 し 等	日本国に居住 している者	<p>市区町村長が交付する、国籍、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。</p> <p>※マイナンバーの記載が省略された証明書類であること。</p>
⑩	奈良教育大学大学院 入学資格認定書(写)	出願資格(4)に 該当する者	<p>本学が行う入学資格審査により入学資格を認められた者は提出してください。</p>

⑪	受験承諾書	大学院在学者	所定の用紙により、在学している大学院の学長又は研究科長の承諾書を提出してください。
		在職者	現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職中で、 <u>在職のまま入学しようとする者は</u> 、所定の用紙により、所属長等の承諾書を提出してください。
⑫	国費外国人留学生 証明書	国費外国人留学生	在籍している大学が証明したもので、国費外国人留学生としての期間が記載されているものを提出してください。

(備考)

- (1) ① 卒業(修了)証明書又は見込証明書及び成績証明書は出身学校の発行する原本を提出してください。ただし、和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校又は総領事館(中華人民共和国の場合はCHSI)が証明した翻訳文(和文又は英文に限る。)を添付してください。(日本語学校による証明は認められません。)上記以外の機関の証明を受けようとする場合は事前に本学までお問い合わせください。
- ② 証明書類等は、原本を提出してください。原本以外の場合は、必ず自国大使館等の公証書類を提出してください。
- ③ 海外及び公的機関からの証明の遅延を理由とした出願締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって出願書類の準備をしてください。
- ④ 住民票に記載の氏名と卒業証明書等に記載の氏名の表記が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類(パスポートの写しなど)を添付してください。
- (2) 実技重視型を選択した志願者は、専門分野(小区分)に関する作品及び当該作品の写真(所定の台紙に貼付)を試験当日の筆記試験開始15分前までに、講義2号棟の受付に提出してください。(17頁参照)

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、下記の出願期間中に提出してください。郵送による場合は、本要項に添付した出願用封筒を用い『簡易書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

[9月募集]

令和7年7月25日(金)から令和7年7月31日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く。)

(郵送の場合は、7月31日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

[2月募集]

令和7年12月5日(金)から令和7年12月11日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く。)

(郵送の場合は、12月11日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 志願者と本学大学院とのミスマッチを防ぐなどの観点から、出願の前に、大学院入学後の研究内容について、指導を希望する教員と個別相談をお願いしております。担当教員一覧や本学ホームページの教員一覧の情報を参考に、研究指導（補助）を希望する教員に必ず事前に相談してください。（願書に事前相談を行った教員名を記載願います。）なお、教員への事前相談については、教員に確認の上、来訪による対面形式、もしくはZOOM等のオンライン会議システムや電話による方法等により行ってください。（メールのみでの相談はここで言う教員への事前相談にあたりません。）

【参照】教員一覧URL (<https://www.nara-edu.ac.jp/academic/masters/teachers/>)

- ② 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ④ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
- ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が以下の日時までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

[9月募集] 令和7年8月20日（水）

[2月募集] 令和8年1月26日（月）

- (2) 受験及び入学手続に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

6. 選抜方法

選抜試験はすべて日本語を使用して実施します。

入学者の選抜は、筆記試験（小論文）、口述試験（実技重視型のみ実技を含む）、成績証明書、研究計画概要、先行研究を踏まえた研究計画書（筆記重視型のみ）及び当日の持参作品（実技重視型のみ）の内容を総合して行います。

配点等は、筆記試験（小論文）として専門分野からの課題（100点満点）及び口述試験（A・B・C評価）とします。

なお、口述試験における口頭試問は、原則、個人面接で実施します。ただし、実技重視型における実技に関しては集団で実施します。

[出題範囲等]

専門分野からの課題

以下の専門分野毎に伝統文化や国際理解教育に関連した内容を出題します。

志願者は、出願時に以下の専門分野（小区分）から1つ選択の上、出願してください。

専門分野		備考
大区分	小区分 ※受験を希望する区分を一つ選択してください。	
伝統文化教育分野	1. 絵画記録保存技術 2. 仮名書道 3. 漢字書法	【実技重視型】
	4. 日本・東洋美術史 5. 文化財科学	【筆記重視型】
国際理解教育分野	6. 漢文学 7. 日本語学 8. 日本語教育学 9. 複言語教育 10. シティズンシップ教育	【筆記重視型】

口述試験（実技重視型）における実技

実技重視型を受験（選択）する際には、下記事項に留意してください。

1. 絵画記録保存技術、2. 仮名書道、3. 漢字書法のいずれかを選択の上、出願します。

① 口述試験における実技のために次のものを持参してください。

1. 絵画記録保存技術

〈試験内容〉 上げ写し法による東洋絵画の模写（用紙は、A3版大程度）

〈持参物〉 模写用具一式（線描用の筆、墨、硯、練習用紙、絵皿など）

2. 仮名書道 および 3. 漢字書法

〈試験内容〉 半紙程度の臨書

〈持参物〉 太筆（半紙6字書き程度）、仮名用細筆、墨（墨液も可）、硯、文鎮、練習用半紙、
下敷き

② 専門分野（小区分）に関する作品及び作品の写真（所定の台紙に貼付）を持参の上、試験当日の筆記試験開始15分前までに講義2号棟の受付に提出してください。

1. 絵画記録保存技術

日本画、あるいは水彩画（東洋画の模写作品を含む。） 1点

作品は3年以内に制作したものとし、サイズは自由とします。

[持参作品の写真]

持参作品の写真（L判・カラー、作品全体が鮮明に写っていること） 1枚

2. 仮名書道 および 3. 漢字書法

毛筆による自作の書道作品 2点

ただし、漢字または仮名、臨書・創作は問わず、表装してあることが望ましい。

作品は3年以内に制作したものとし、サイズは自由とします。

[持参作品の写真]

持参作品の写真（L判・カラー、作品全体が鮮明に写っていること） 各1枚

※ 持参作品については、当日返却します。（いったん預かるため、包装は簡易であること。）

※ 持参作品の写真は、本学所定用紙に貼付の上、提出してください。

(1) 試験期日

[9月募集] 令和7年9月 6日（土）

[2月募集] 令和8年2月14日（土）

(2) 試験場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町^{たかばたけちょう}(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 試験時間割

当日は、試験についての留意事項を説明しますので、必ず各試験の10分前までに集合してください。集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

(伝統文化教育・国際理解教育専攻 伝統文化（書道を含む）教育・国際理解教育専修)

試験区分 選抜区分	筆記試験（小論文）	口述試験 (A・B・C評価)
	専門分野からの課題 (100点満点)	
外国人留学生特別選抜 (筆記重視型)	9:30～10:30 (60分間)	12:00～ 口頭試問
外国人留学生特別選抜 (実技重視型)	9:30～10:30 (60分間)	12:00～ 実技終了後、口頭試問

7. 受験についての留意事項

- (1) 出願手続後は、選抜区分及び専門分野の変更は認めません。
- (2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (3) 試験当日は、「奈良教育大学大学院教育学研究科(修士課程)受験票」を必ず持参してください。
万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。
- (4) 試験室に入室するまでに、必ずスマートフォン等の電子機器類のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。なお、口述試験の待機中は自席での自習は可能ですが、スマートフォン等の電子機器類は使用できません。
- (5) 筆記試験（小論文）開始後30分を経過して遅刻した者は、それ以降の試験も含めて受験することができません。また、口述試験については、開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (6) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。
なお、トイレ等の一時退室による試験時間の延長は行いません。
- (7) 連絡事項がある場合は、本学のホームページに掲載します。
- (8) 本要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

[9月募集] 令和7年9月25日(木) 午前10時

[2月募集] 令和8年2月27日(金) 午前10時

合格発表日に本学のホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送します。ホームページ上の合格速報は情報提供サービスの一環として掲載するものであり、**正式には合格通知書で確認してください。**また、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日

[9月募集] 令和7年10月9日(木) 郵送必着

[2月募集] 令和8年3月13日(金) 郵送必着

10. 納付金

① 入学料 282,000円 (予定)

② 入学時諸費用 18,080円 (予定額)

(内訳: 後援会費10,000円、同窓会費6,000円、学生教育研究災害傷害保険等2,080円)

(注) ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 授業料については、前期分は5月末まで、後期分は11月末までに納入いただきます。納入手続の詳細については、合格者に配付する「入学手続要領」によりお知らせします。

(参考) 授業料 年額535,800円 (前期267,900円 後期267,900円) (予定額)

ウ. 上記の入学料、授業料及び入学時諸費用は、令和7年度入学者の金額であり、令和8年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 入学時諸費用(上記②)を納入した者が、令和8年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ. 詳細については、合格者に配付される「入学手続要領」を参照してください。

1.1. 修士課程担当教員一覧表

17頁の〔専門分野からの課題〕をよく読んで専門分野を受験(選択)してください。

氏名欄に※のある教員は令和8年3月退職予定です。※※のある教員は令和9年3月退職予定です。

下表に変更が生じた場合は、本学のホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/>) で発表しますので、各出願前に確認してください。

研究領域	職名	氏名	研究テーマ・研究分野
伝統文化教育分野	准教授	池田 藍子	文化財造形、文化財における絵画記録保存・彩色復元模写
	准教授	北山 聡佳	仮名書道、仮名書道に関する教育
	准教授	西村 大輔	漢字書法、書写書道教育
	教授	山岸 公基※	日本・東洋美術史の研究
	教授	青木 智史	文化財科学、博物館学
国際理解教育分野	教授	橋本 昭典	中国思想、日本漢文学
	教授	前田 広幸※※	日本語の研究
	教授	和泉元 千春	日本語教育学
	教授	吉村 雅仁※※	複言語能力育成のための言語教育、言語意識教育
	教授	橋崎 頼子	シティズンシップ教育のカリキュラム研究

Ⅲ. 修士課程（一般選抜）・修士課程(外国人留学生特別選抜) 共通事項

1. 受験上の配慮等に関する事前相談について

疾病、障害又はその他の理由のために、受験上の特別な配慮を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、必ず出願までに相談してください。

1. 相談の期間

[9月募集] 令和7年 7月 7日(月) から令和7年 7月 9日(水) まで

[2月募集] 令和7年11月 4日(火) から令和7年11月 6日(木) まで

上記期日後に不慮の事故等により同様に配慮等が必要となった場合には、直ちに入試課に相談してください。相談の時期や配慮等の内容によっては対応できない場合がありますので、至急相談してください。

2. 相談の方法

志願者又は代理人より入試課へ電話連絡をした後、学長宛に次の事項を記載した相談書類(様式任意)を作成して提出してください。(理由が疾病、障害の場合は、医師の診断書を添付すること。)

記載された連絡先に大学側から連絡し、相談内容について協議のうえ、受験上の特別な措置について試験期日までに決定し、通知します。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁しえる出身大学関係者等との面談等を行います。

- (1) 氏名及び出身大学名
- (2) 疾病、障害その他の理由の種類、程度
- (3) 出願予定の専門分野(大区分・小区分)
- (4) 受験上の特別な配慮を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身大学でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先の住所、電話番号等

3. 提出先 奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

2. 修了要件、履修方法等について

<修士課程の修了要件の概要>

修士課程においては、履修規則に基づき30単位以上を修得した上、修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要となります。

3. 学部授業科目の履修制度について

修士課程においては、大学院に在学しつつ、学部の授業科目を履修できる制度(科目等履修生制度)があります。

<履修の制限等>

- ・1学期間4科目8単位以内、修業年限の2年間で最大32単位まで履修できます。なお、修業年限を越えて大学院に在学する場合は、48単位を履修上限としています。

<授業料等>

- ・科目等履修生の検定料及び入学科については、徴収しません。ただし、改定があった場合は、徴収します。
- ・授業料は1学期間4単位(年間8単位)以内の履修については徴収しませんが、4単位を越える場合については、1単位につき、14,800円(予定)を徴収します。

〈その他注意事項〉

- ・大学院正規課程での授業・研究が主となりますので、学部授業科目の履修については、入学後研究指導教員と相談のうえ履修計画をたて、承認を得ることになります。また、本制度は大学院の授業と学部の授業の時間割の重複や、当該授業担当者の承諾が必要であることにより、履修できないこともあります。

※本制度による履修について不明な点がある場合は必ず出願までに問い合わせてください。

【問い合わせ先】 教務課 大学院係 TEL 0742-27-9322

4. 長期履修学生制度について

この制度は、修士課程の入学者のうち、職業を有している者、出産、育児、介護等を行う必要がある者、障害のある者で、通常の標準修業年限での履修が困難な場合に、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるもので、その間の授業料の年額の負担を軽減することができるものです。

※本制度による履修について不明な点がある場合は必ず出願までに問い合わせてください。

【問い合わせ先】 教務課 大学院係 TEL 0742-27-9322

5. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について

本学大学院入学後に日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する日本人学生・在日外国人学生(留学生は除く。)は、奈良教育大学のホームページにて申請方法を確認してください。

【注意】 申請方法は令和7年9月からホームページに掲載の予定です。

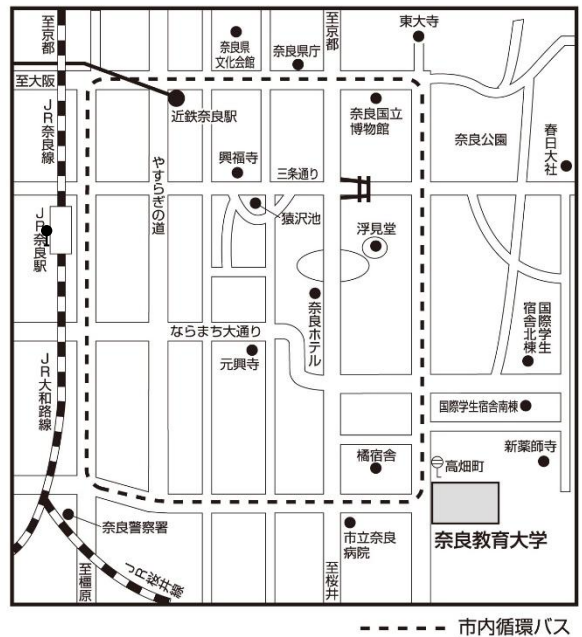
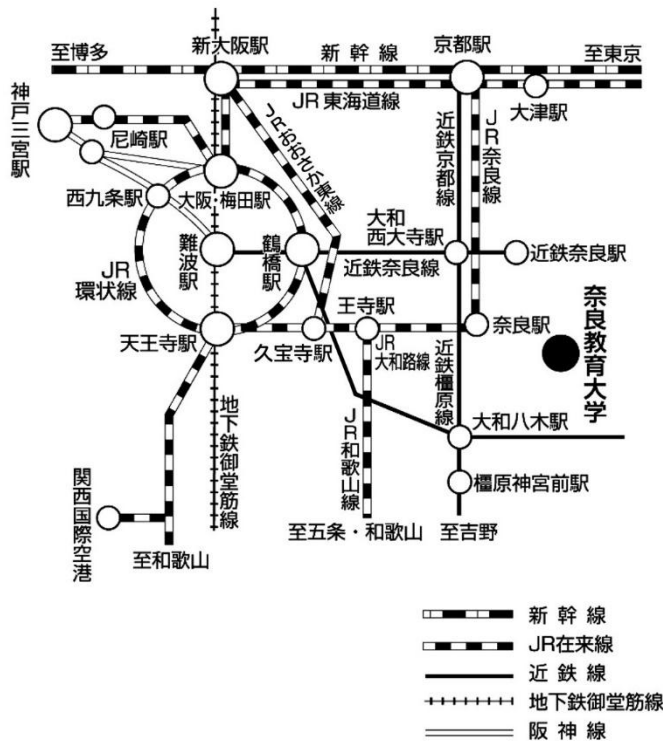
申請受付期間は令和7年12月から令和8年1月中旬の予定です。

6. 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、法令に基づく場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続きに関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続き者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生指導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続き者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) 個人情報の保護に関する法令及びその他の規範を遵守します。

試験場への順路



京都駅から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪駅から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪駅から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波駅から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺駅から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約33分+市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮駅から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126

Fax 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp